

# 森永乳業株式会社 東京工場

## 建物諸元(2014年4月現在)

所在	葛飾区奥戸 1-29-1
主用途	工場
延床面積	33,973 m <sup>2</sup>
階数	地上3階
竣工年月	1957年4月
事業者・所有者	森永乳業株式会社
URL	<a href="http://www.morinagamilk.co.jp">http://www.morinagamilk.co.jp</a>

## 主な評価項目

- I 一般管理事項  
環境マネジメントシステムと連携し、月例のCO2削減推進会議の開催、省エネ講習会の開催など、CO2削減体制を強化した。
- II 建物、設備性能に関する事項  
ガスコージェネレーション設備の導入、高効率の蒸気ボイラやエアコンプレッサーの導入と台数制御、高効率熱源設備の導入、蓄熱システムの導入
- III 運用に関する事項  
コージェネレーションの運転の最適化、部分負荷時の蒸気ボイラの運転の適正化、蒸気ボイラの起動時間の適正化、洗浄便座暖房の夏季停止

## 事業所の概要

森永乳業(株)東京工場は、牛乳などの飲料、焼プリン、無菌充填豆腐などの製造工場であり、都心に近い立地条件から、物流拠点としての位置付けも担っています。

## 事業所における環境負荷低減の取組

森永乳業では、古くから環境対策に取り組んでおり、本事業所でもコージェネレーション設備、ボイラ、熱源設備など各種高効率設備の導入、環境マネジメントシステムによる省エネルギー、CO2削減活動を積極的に推進しています。

### ・ コージェネレーション設備

1,500kW ガスタービン×1台と550kW ガスエンジン×2台のコージェネレーション設備を導入し、使用電力の約6割、使用蒸気の約5割を工場内に供給しています

### ・ インバーター式エアコンプレッサー

高効率設備(160kW)を導入し、インバーターの負荷追従性を生かす事により、他のエアコンプレッサーの台数制御での起動待ち電力を削減しています。

### ・ LED照明・人感センサー導入

不要時の消灯強化、間引・分割照明の実施など。

### ・ 全員参加の取り組み

ISO14001、改善提案制度、コストエンジニアリングなどの活動の推進により、製品の製造過程におけるエネルギー使用とCO2排出量の削減に、全従業員が取り組んでいます。

## 事業所外観写真



ガスタービンコージェネレーション設備



ガスエンジンコージェネレーション設備